

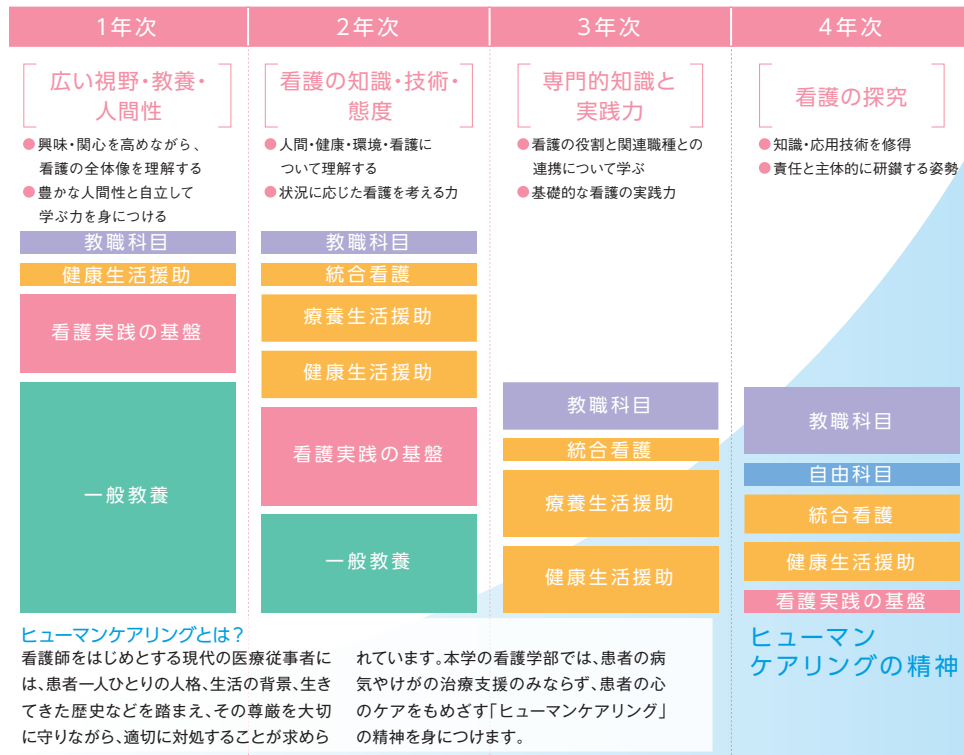
# 看護学科の学び(3つのポリシー)

## アドミッション・ポリシー 入学時の学生の力・求める人材像

- ①豊かな発想と論理的な思考を基に行動するために必要な基礎学力を有している。
- ②自らが主体的に学ぶ姿勢を有し、課題解決のために意欲的に取り組み、自己研鑽できる。
- ③国内外の保健・医療・福祉・教育分野において広く貢献したいという志を有している。
- ④ヒューマンケアの理念を基盤に、他者の立場や心情を理解し、きめ細かな配慮と心遣いができる。
- ⑤高等学校教育課程の内容を幅広く修得し、特に聞く・話す・読む・書くという他者との相互作用によるコミュニケーションを行う基礎的能力を身につけ、科学的思考力や生命現象を理解するために不可欠な基礎的知識を有している。

## カリキュラム・ポリシー 教育カリキュラム

教育目的を踏まえ、看護学科ではカリキュラムを「一般教養」「看護実践の基盤」「看護の発展」の枠組みで構成しています。「一般教養」では、人文・社会・自然に関する諸科学を基盤として、豊かな人間性と国際的な視野・教養を深めます。「看護実践の基盤」では、看護の理論的枠組みを理解します。「看護の発展」では、あらゆる健康レベルに対応する看護の知識・応用技術を学修します。



### ヒューマンケアリングとは?

看護師をはじめとする現代の医療従事者には、患者一人ひとりの人格、生活の背景、生きてきた歴史などを踏まえ、その尊厳を大切に守りながら、適切に対処することが求めら

れています。本学の看護学部では、患者の病気やけがの治療支援のみならず、患者の心のケアをもめざす「ヒューマンケアリング」の精神を身につけます。

## ディプロマ・ポリシー 卒業時に修得している力

- ①豊かな人間性を育み、ヒューマンケアリングが実践できる能力。
- ②看護の独自性を発揮し、保健・医療・福祉チームで連携・協働できる能力。
- ③国際社会および地域社会の健康に対する多様なニーズに貢献できる能力。
- ④ヒューマンケアに対する科学的探究心や創造性を持ち、生涯学習へ主体的に取り組む姿勢。

豊かな人間性の育成をベースに、段階的に専門知識と技術を修得し現代の高度な「看護」を担う実践力を身につける4年間

※カリキュラムは変更となる場合があります。

科目一覧	1年次	2年次	3年次	4年次
一般教養	人文科学系	心理学概論 日本史 ●健康体育法 人と芸術	運動の科学	
	社会科学系	●くらしと日本国憲法 社会学 赤穂学 くらしと経済(国際経済を含む)		
	自然科学系	情報科学 生物学 化学		
	語学系	基礎総合英語Ⅰ・Ⅱ 国語表現法 英会話(基礎) 中国語 手話(基礎)	手話(応用)	
	人間理解の基礎	生と死の教育 人間関係学 哲学	臨床への宗教学 人間と宗教 スピリチュアル支援論	
教養ゼミナール	教養ゼミナール			
看護実践の基盤	人間の理解	形態機能学Ⅰ・Ⅱ 生化学	精神保健 生涯発達論 ●ウイメンズヘルス	
	健康の理解	感染・免疫学	病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 病理学 薬理学 栄養学(含:食品学)	
	環境の理解	●●学校保健学	疫学Ⅰ 保健統計Ⅰ 保健医療と法 公衆衛生学 ●保健医療福祉行政論	●疫学Ⅱ ●保健統計Ⅱ ●産業保健学
	看護の理解	看護学概論 看護キャリア形成 基礎看護学実習Ⅰ ヒューマンケアリング論 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ	看護過程論 フィジカルアセスメント 感染看護 看護倫理 基礎看護学実習Ⅱ	ヘルスアセスメント
看護の発展	健康生活援助	地域看護概論	母性看護学概論 ●公衆衛生看護学概論	母性看護学援助法 母性看護学実習 ●地域アセスメント ●公衆衛生看護学管理論 ●地域母子保健論 ●助産学概論 ●助産診断技術Ⅱ・Ⅲ ●助産管理 ●助産期実習 ●継続事例実習 リハビリテーション看護 ●クリティカルケア論(含:救急処置)
	療養生活援助		小児看護学概論 小児看護学実習 成人看護学概論Ⅰ・Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ 老年看護学概論 老年看護学実習 精神看護学援助法 精神看護学実習	
	統合看護		在宅看護概論 在宅看護援助法 在宅看護実習	ヒューマンケアリング実習 地域包括看護実習 看護管理 家族看護 国際看護 災害看護
	研究			看護研究法 卒業研究Ⅰ・Ⅱ
	自由科目		看護研究Ⅰ	総合看護研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 看護研究Ⅱ
教職科目	●教職論 ●教育原理	●教育社会学 ●教育心理学 ●特別支援教育 ●教育課程論 ●生徒指導論 ●教育相談	●道徳教育論 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ●教育方法論	●看護実習指導 ●看護実習 ●教職実践演習(養護)

資格取得関連科目 ●助産師(国家試験受験資格) ●保健師(国家試験受験資格) ●養護教諭一種免許状